

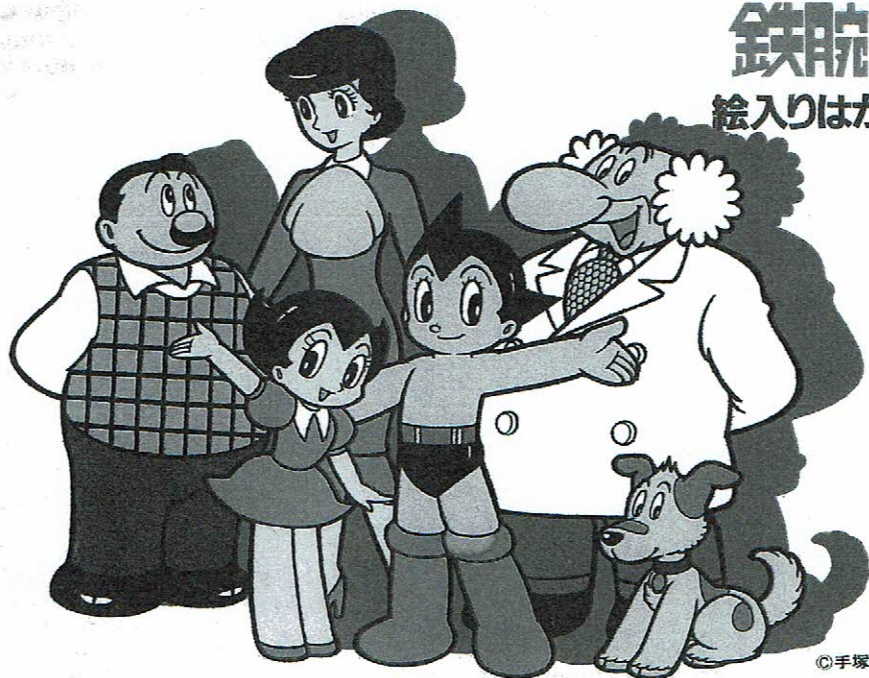
○週刊少年漫画50周年1 (2009. 3. 17)

私が、6、7歳の子供の頃、テレビ放送で、「鉄腕アトム」を見た記憶があるが、これは、第一次ベビーブームの子供をターゲットにして、作られており、私は、あまり、記憶には無いのが正直な話で、9、10歳（昭和39～40年）の頃には、「宇宙少年ソラン」とか「宇宙少年ジェット」が放映されて、そちらの方が、個人的に印象が強いです。11歳（昭和41年）の頃には、「エイトマン」もテレビで放映されていました。漫画雑誌は、最初の頃、少年サンデー、少年マガジン、そして、少年キングがあり、それは廃刊されて、少年チャンピオン、少年ジャンプが後に加わりました。最初の頃には、「黒い秘密兵器」、「紫電改のタカ」、「伊賀の影丸」、「おそまつ君」などを見ていましたが、大学卒業ぐらいに、漫画からも卒業した。最後に興味を示したのは、「博多っ子純情」でした。しかし、それは一時的で、手塚治虫の「ブッダ」、「火の鳥」に、大変、感動しましたが、33歳の頃の「めぞん一刻」で、本当に、漫画から卒業しました。私も、20年間以上、漫画に付き合ったが、常識、話題性、暇つぶしの為だったのだろうか。タバコみたいに習慣性があり、漫画中毒みたいな状況もありました。

MY東京絵入りはがき第8集

鉄腕アトム

絵入りはがきセット



©手塚プロダクション

The 50th Anniversary of Japanese weekly comic books for boys

週刊少年漫画50周年 I <週刊少年マガジン>



Cartor Security Printing
平成21年3月17日